

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2005-296373(P2005-296373A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-117531(P2004-117531)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月2日(2007.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め定められた作動条件が成立することに応じて開閉動作を行なう可動部材を組み付けた可変入賞装置と、前記可動部材の開閉動作を制御する遊技制御装置とを備え、

前記可変入賞装置内には、前記可動部材の開閉動作中に当該可変入賞装置内に案内された玉が入賞可能なV入賞口とハズレ口とが設けられ、

前記玉が前記V入賞口に入賞することに応じて生成されるV入賞信号を前記遊技制御装置が取得した場合に、前記可動部材が所定の当たり時開閉動作を行なう大当たり状態が発生するパチンコ遊技機であって、

前記可動部材は、前記作動条件が互いに相違する第一の可動部材と第二の可動部材とを含んで構成され、

前記遊技制御装置は、各作動条件の成立に応じて、前記第一の可動部材を駆動する第一アクチュエータと、前記第二の可動部材を駆動する第二アクチュエータとを個別に制御し、

前記可変入賞装置は、前記第一の可動部材の開閉動作中に内部に案内された一の玉と、前記第二の可動部材の開閉動作中に内部に案内された他の玉とが、共通の前記V入賞口に入賞するように装置され、

前記第二の可動部材は、前記大当たり状態中にも開閉動作が行なわれるものであって、自身の閉鎖中に前記玉を貯留することが可能な玉貯留部を有し、開閉動作が行なわれるのとほぼ同時に、貯留していた前記玉を前記可変入賞装置内に案内するように構成されていることを特徴とするパチンコ遊技機。

【請求項2】

前記第一の可動部材は、前記可変入賞装置の左右の入口に対をなす形で設けられ、それらが常に同期して開閉動作するように構成され、

前記第二の可動部材は、前記可変入賞装置の前記左右の入口とは別の、第二の入口に蓋をする形の蓋状体をなすとともに、閉鎖状態で自身に形成された凹みが前記玉貯留部として機能することにより前記玉を貯留可能とされ、前記閉鎖状態から前記開放状態となることにともなって前記第二の入口に向けて貯留玉を落とし込むように構成されており、

前記可変入賞装置内には、前記第一の可動部材の開閉動作によって前記左右の入口から

当該可変入賞装置内に進入した前記玉が最初に移動する第一領域と、該第一領域と前記V入賞口および前記ハズレ口との間に位置する第二領域とが形成される一方、

前記第二の可動部材の開閉動作によって前記第二の入口から当該可変入賞装置内に進入した前記玉を前記第二領域に直接誘導する誘導部材を設け、前記左右の入口からの前記玉と、前記第二の入口からの前記玉とが、前記第二領域にて合流するようにし、

前記可変入賞装置は、前記左右の入口から進入した前記玉が前記V入賞口に入賞する割合よりも、前記第二の入口から進入した前記玉が前記V入賞口に入賞する割合の方が高くなるように、前記第二の入口から前記V入賞口への経路上に配置された前記誘導部材を有する請求項1記載のパチンコ遊技機。

【請求項3】

前記遊技制御装置は、前記作動条件の成立を検出した場合において、前記第一の可動部材および前記第二の可動部材のうち、最新の開閉動作を行なったのがいずれであるのかを記憶する記憶部を有し、前記玉が前記V入賞口に入賞し前記V入賞信号を取得した際には、前記記憶部の記憶内容に応じて複数の大当たりモードの中から一の大当たりモードを選択し、選択した大当たりモードにて前記第一の可動部材および／または前記第二の可動部材に前記当たり時開閉動作を行なわせる請求項1または2に記載のパチンコ遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明者は、従来のパチンコ遊技機では、可変入賞装置の内部構造の改良がほとんどであることに着目し、それ以外の部分の改良について真剣に取り組むことを試み、以下に示す本発明を完成させるに至った。すなわち、上記課題を解決するために本発明は、予め定められた作動条件が成立することに応じて開閉動作を行なう可動部材を組み付けた可変入賞装置と、可動部材の開閉動作を制御する遊技制御装置とを備え、可変入賞装置内には、可動部材の開閉動作中に当該可変入賞装置内に案内された玉が入賞可能なV入賞口とハズレ口とが設けられ、玉がV入賞口に入賞することに応じて生成されるV入賞信号を遊技制御装置が取得した場合に、可動部材が所定の当たり時開閉動作を行なう大当たり状態が発生するパチンコ遊技機であって、可動部材は、作動条件が互いに相違する第一の可動部材と第二の可動部材とを含んで構成され、遊技制御装置は、各作動条件の成立に応じて、第一の可動部材を駆動する第一アクチュエータと、第二の可動部材を駆動する第二アクチュエータとを個別に制御し、可変入賞装置は、第一の可動部材の開閉動作中に内部に案内された一の玉と、第二の可動部材の開閉動作中に内部に案内された他の玉とが、共通のV入賞口に入賞するように装置され、第二の可動部材は、大当たり状態中にも開閉動作が行なわれるものであって、自身の閉鎖中に玉を貯留することが可能な玉貯留部を有し、開閉動作が行なわれるのとほぼ同時に、貯留していた玉を可変入賞装置内に案内するように構成されていることを主要な特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明において、上記した第二の可動部材は、大当たり状態中にも開閉動作が行なわれるものであって、自身の閉鎖中に玉を貯留することが可能な玉貯留部を有し、開閉動作が行なわれるのとほぼ同時に、貯留していた玉を可変入賞装置内に案内するように構成される。この構成によれば、第二の可動部材が開放すると速やかに貯留玉が可変入賞装置内に案内されるから、大当たり中のラウンド間に玉の発射を止めて無駄玉を無くす、いわゆる

止め打ちを行なう必要性がなくなる。また、大当たりのラウンド間で貯留した玉が、第二の可動部材の開放と同時に可変入賞装置内に入賞するから、大当たり中の1ラウンドあたりの消化時間が短縮化し、これによりスピーディーな遊技展開を実現できる。